



ぴっくあっぷブック一覧



年度	放送月	書名	著者	出版社	出版年	内容	請求記号
平成24年度	4月	空のおくりもの -雲をつむぐ少年のお話-	マイケル・キャッチャー	プロンズ新社	2012・2	雲から糸を紡いで布を織る少年。あまりにも多くの糸を使いすぎたために・・・自然とともに生きる意味が問われます	Z933.7
		ぶたばあちゃん	マーガレット・ワイルド	あすなる書房	1995・9	いつであっても悔いの残る人との「さよなら」。大人が見せる別れの覚悟が凛としたものであれば子どもは大丈夫。	Z933.7
	5月	歴史にみる「日本の色」	中江 克己	PHP研究所	2007・12	自然の中に色があふれる国「日本」の5月の風は何色でしょう。	757.3
		ほうらいの海翡翠	桑原 水菜	角川書店	2011・12	琥珀なのに緑色？古代の人々の好んだ石、どんな色か頭に浮かびますか。	913.6
		夢の花、咲く	梶 よう子	文藝春秋	2011・12	変化朝顔がテーマです。幻の花「黄色の朝顔」はいつ咲くのでしょうか。	913.6
	6月	海に降る	朱野 帰子	幻冬舎	2012・1	潜水中に見える「マリンスノー」とは。海は苦手な人にも楽しく読めます。	913.6
		ふるやのもり -幼児みんわ絵本-	今村 泰子	ほるぷ出版	1985	泥棒よりも狼よりも「ふるやのもり」が一番怖い。雨降りに親子でもう一度昔話を。	Z913.8
	9月 敬老の日 おすすめ本	百歳	柴田 トヨ	飛鳥新社	2011・9	90歳から書き始めた「詩」が2冊目の本になりました。こんなふうには生きられるなら、年をとるのも悪くない。	911.56
	10月	ゆったり、わくわく 子どもと楽しむ12 カ月	きくち いま	阪急コミュニケーションズ	2011・11	本人手書きのイラストも楽しいものばかり。ゆるゆると子育てをしてみませんか。	Y386.1
		庄内方言よもやま話 し	篠崎 晃一	山形県東田川郡三川町役場	2012・2	奈良時代の「万葉集」にルーツがある言葉。「こげだ話しおぼえだが」	K318
	11月	あの人がいた	矢崎 泰久	街から舎	2011・9	年賀状を書く頃になると「ああそういえば」と思い出す人がいませんか。著者の心に残るあの人が16人。	281.04
		たったこれだけの家族	河野 裕子	中央公論新社	2011・7	「ひとはなぜ 亡きひとのこゑを憶えぬる 呼ばればすぐに振りむけるほどに」	914.6
	12月	やまたのおろち	久保 喬文 久米宏一 絵	フレーベル館	1978・5	日本で最初の和歌が作られたヤマタノオロチの話を、もう一度読んでみませんか。	Z913.8
		へびのしっぽ	二宮由紀子 作 荒井 良二 絵	草土文化	1998・11	のんきでちょっとドジなへびのしっぽ、県出身の荒井良二さんの絵とともに楽しみください。	YZ913.8
	2月	それからのおにがしま	川崎 洋	岩崎書店	2004・2	皆知っている昔話。でもそのあと、鬼が島はどうなったのでしょうか。	Z913.8
		千年鬼	西條 奈加	徳間書店	2012・6	心が壊れてオコとなったものは、千年の輪廻を重ねても正気にもどらない。人鬼となった娘を救ったのは・・・	913.6
	3月	命をつないだ道 -東北・国道45号 線をゆく-	稲泉 連	新潮社	2012・3	非常時の心のありよう、復旧に人力した人々の覚悟が身にしみます。	369.31
		カラフル	森 絵都	講談社	2011・11	この世の中は「カラフル」で全ての色がごったになった世界。若いあなた方はどんな色を自分の色に決めますか。	Z913.8